



「楽しい♪」が伝わる、広がる幼稚園

園長 中島 由美子

二学期に入っても暑い日が続きましたが、気温が落ち着くにつれ心地よい風が吹き、秋の気配を感じられるようになりました。屋上ビオトープに行くと「リー、リー、リー」「コロコロコロ、コロ、コロ」「リーン、リーン」など、秋の虫の声が聞こえてきます。子どもたちは虫の声をたよりに虫探しに夢中です。トンボもたくさんとんでおり、メスが水面にお腹を打ち付けて卵を産み落とす姿（打水産卵）も見られ、子どもたちは体全体で自然を感じています。

さて、9月に東京で世界陸上が行われました。テレビ観戦だけでなく、国立競技場やマラソンコースである銀座で観戦されたご家庭もあったと聞いております。年長児は、学級みんなで競技の動画を視聴しました。特に100m走やリレーでは、選手の走る速さに驚き、走る姿やバトンの渡し方をじっくり見て、どうやったら早く走れるのか？と意見を出し合っていました。そこに、登場したのは、小学校からお借りした東京2025世界陸上開催記念のバトンです！子どもたちは、今、見ていたバトンがその場にあらわれ、大喜びで、そのまま校庭でリレーが始まりました。選手と同じスタートのフォームをして走る幼児、競技場と同じ色の小学校のコースで走る幼児など、それぞれの「走りたい！」気持ちを表していました。

年長児の姿は年中児、年少児の大きな刺激となります。同じ遊びではないとしても、「楽しそう♪」という雰囲気が伝わり、広がり、園全体につくられます。園庭ではリレー遊び、鬼ごっこ、長縄など、発達段階に応じた遊びが展開され、子どもたちは体を動かす楽しさを味わっています。いよいよスポーツの秋、芸術の秋、実りの秋と呼ばれる季節となります。園全体で楽しい空気を共有しながら、この季節ならではの体験を積み重ねていきたいと思います。



- ・近くにいる友達と同じ動きをしたり、同じものを身につけたりしながら遊ぶ楽しさを感じる。
- ・教師や学級の人々と一緒に体を動かしたり、秋の自然に触れたりすることを楽しむ。

今月の学年目標

- ・一緒に遊んでいる友達に、自分の思いや考えを出しながら関わって遊ぶことを楽しむ。
- ・戸外で伸び伸びと体を動かしたり、秋の自然に触れたりして遊ぶことを楽しむ。

- ・自分の思ったこと、考えたことを相手に分かるように伝えたり、友達の考えを受け止めたりしながら、一緒に遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。
- ・身近な自然の変化に気づき、感じたことを表現したり、自分たちの遊びに取り入れたりする。

